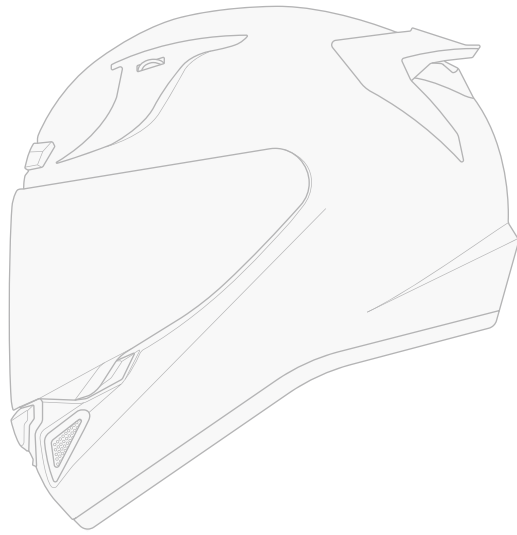




# RPHA 12

Owner's Manual



販売元

株式会社 **アールエス タイチ**

〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1-1-41 ルクスビル 7F お客様相談窓口: 0120-22-3403  
TEL. 06-6785-0501 / FAX. 06(6785)0510 e-mail : taichi@rs-taichi.co.jp

製造元

HJC VINA LIMITED COMPANY

Khai Quang Industrial zone, Khai Quang Ward,  
Vinh Yen City, Vinh Phuc Province, Viet Nam Tel. 84-211-3726-911

www.hjchelmets.com

HJC Corp.



REV.00/JP



## RPHA 12



PIM™:  
Premium Integrated Matrix



全サイズにチークパッド互換性有り



アドヴァンスド チャネリング  
ベンチレーションシステム



ダブルDリング



PINLOCK  
HJ-42シールド付属



エマージェンシーキット  
(緊急時にヘルメット装着状態でチークパッド着脱可能)



UV 99%カット



JIS認定/SG認証



内装取り外し可/洗濯可



MFJ公認※ロードレース用  
(MFJ公認/承認競技会にて使用可能)

サイズ: S-XL

※HJCヘルメットについての詳細は[www.hjchelmets.jp](http://www.hjchelmets.jp)をご覧ください。



SGマークは(Safety Goods)安全な製品の略号で製品安全協会が定めたものです。構造、材質、使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について、安全な製品として必要な事を決めたSG基準を、製品安全協会が定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。



PSマークのPはProduct(製品)、SはSafety(安全)の略号で国が定めたものです。なお、PSマークの下のCはConsumer(消費者)の略号です。国は、消費生活用製品のうち、一般消費者の生命又は身体に対して特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を「特定製品」として政令で指定し、国で定めた技術上の基準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品にはPSマークの表示がされ、PSCマークを表示していないものはその販売を禁止されています。

### 乗車用ヘルメットの有効期限は、『購入後3年です』

ヘルメットは使用に伴い老朽化、劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、『購入後3年』との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがあります。また3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損、改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、充分ご注意ください。

### SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、万一ヘルメット(シールド等の付属品は含まない)に欠陥があつて着用者がケガをした場合などの人的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レース/サーカス等)に用いている際の負傷やSG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

### 製品の欠陥により事故がおきた場合

『賠償手続きは以下の通りです』

1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。  
<https://www.sg-mark.org>
2. 『事故発生届』又は『賠償措置実施請求書』を提出してください。(原則として事故発生より60日以内)
3. 事故の状況を何ととともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうかを決定します。

### SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪2階  
一般財団法人製品安全協会 <https://www.sg-mark.org>

### ▲警告 ヘルメットの保護能力には限度があります。

HJCヘルメットは国の定める安全基準を十分満たしておりますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全という訳ではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒の際、外部からの衝撃を軽減するものにすぎません。

### ▲警告 必ず守って頂きたい注意事項

・使用前点検を必ず行ってください

構成部品が正しく取り付けられているか乗車前に点検してからご使用ください。ベンチレーションや内装等の取り付け部品がしっかり固定されているか?スクリュー等が緩んでいないか?良く確認してご使用ください。

・頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。又、小さすぎるヘルメットは頭を締め付け痛くなる事があります。首を振ってもしれない頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。

### ▲警告

#### ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、HJCヘルメットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。本取扱説明書はHJCヘルメットの正しい取り扱い方法について説明しております。ご使用になる前に一読の上、安全快適なバイクライフをお楽しみください。又、ヘルメットの取り扱いをご存知の方もこのヘルメット独自の装備、取り扱いがございます。また本書は大切に保管して下さい。この取扱説明書の内容は、予告なしに変更する場合があります。

・**あご紐はしっかり締めてください。**あご紐を締めなかつたり、ゆるい締めかたでは走行中にズれたり、万一反倒した時に脱げてしまい、頭を守る事ができません。

・**走行中にエアインテークのシャッターを操作しないでください。**走行中のシャッター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となり危険です。操作は、必ず停止した状態で行ってください。

・**汚れや傷のついたシールドで走行しないでください。**走行中、視野の妨げになりますので、汚れたシールドは走行前に汚れを落とし傷の付いたシールドは新しい補修部品に交換してください。

・**走行中の環境変化に対する注意。**  
突然の雨や急激な温度変化によってシールドが曇る場合があります。このような状況が予測される時は、走行前にシールドの開度を調整し、通常よりスピードをおさえて走行してください。

・**大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくても使用しないでください。**ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れる事で衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後は既にライナーが潰れている場合が多く、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。

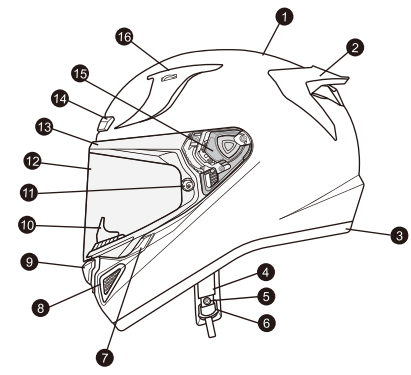
・**改造は絶対しないでください。**ヘルメットに穴をあけたり、削ったりする事は、性能を損ない非常に危険です。また、着脱可能な部品を取り外したままでの走行も大変危険です。

・**ヘルメット及びシールドのお手入れには薄めた中性洗剤をご使用ください。**熱湯(50℃以上)や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用しますと本体及びシールドに悪影響を与えますので、絶対に使用しないでください。汚れは中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取る様にしてください。

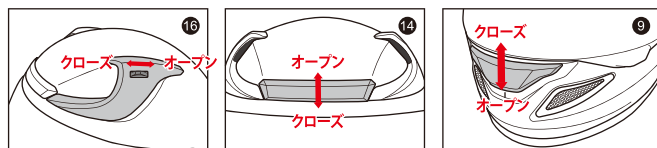
・**ヘルメットに塗料、接着剤、ガソリン、その他何なる溶剤もつけないでください。**溶剤によりシェル及び衝撃吸収ライナーが侵され衝撃吸収力が著しく低下します。

・**ヘルメットは必ず本体又はあご紐を持って取り扱ってください。**内装やシールドをつかんで持ち運ぶとヘルメットを落とす恐れがあります。又ヘルメットをオートバイのホルダーに付けたままの走行はおやめください。ヘルメットに傷を付けるばかりか、オートバイの操縦に支障をきたすことがあり大変危険です。

### 各部の名称

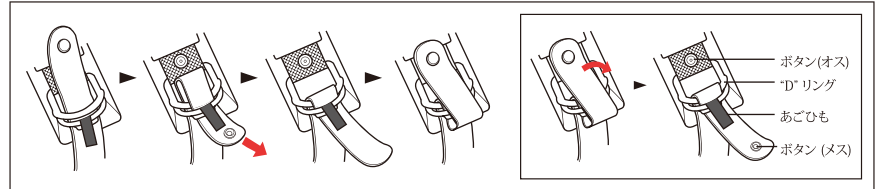


1. シェル
2. リアベント
3. ボトムガスカート
4. チンストラップ(あごひも)
5. チンストラップボタン
6. ダブルDリング
7. シールドロック
8. ロアインテーク
9. ロアベント
10. プレスガード
11. アンチフォグレンズ取付用ピン
12. HJ-42シールド
13. アイポートガスカート
14. フロントエアインテーク
15. ギアプレート
16. トップベント



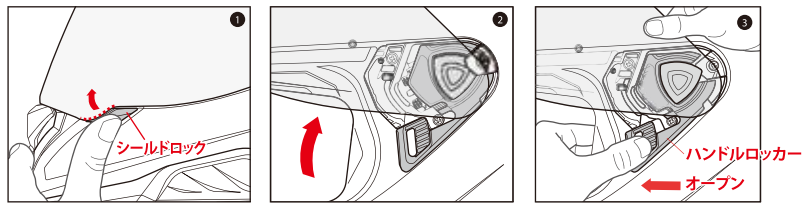
### あご紐の締め方

▲警告 あご紐が下の図の様に正しく緩みなく装着できているか、必ず確認して下さい。あご紐がたるんでいる様であれば、締め直して下さい。確実にあご紐が締められていないと、万一反倒した際にあご紐が外れてしまい、重大な後遺症が残ったり、最悪の場合死に至ることもあります。



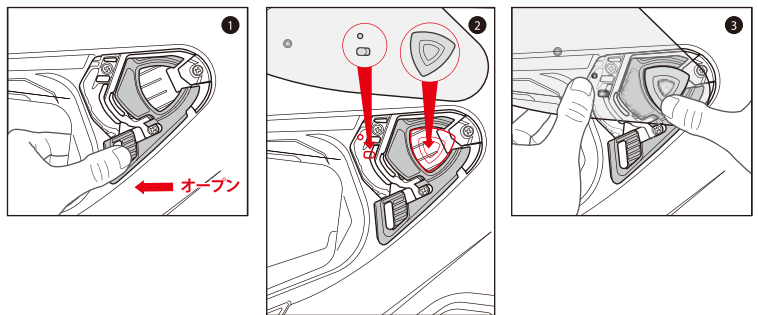
### シールドの取り外し

1. シールドロックを矢印の方向に押し上げてロックを解除します。
2. シールドを全開にしてください。
3. ハンドルロッカーを矢印の方へスライドさせて下さい。シールドがギアプレートから外れます。



### シールドの取り付け

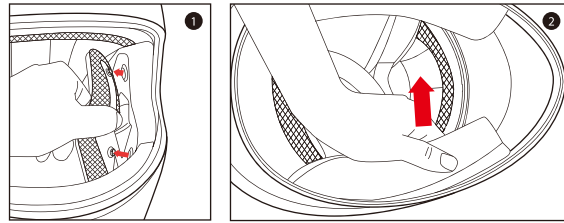
1. ハンドルロックが解除になっていることを確認します。
2. シールド内側の突起部分を図②の様に合わせてください。
3. カチッという音がして、シールドが固定されます。



**▲警告** ヘルメットを使う前に、チークパッド、インナーライナーが正しい位置にあるかを必ず確認してください。パッドが適切に取付されていないと、事故発生時、深刻な負傷や死亡の危険が高くなる恐れがあります。

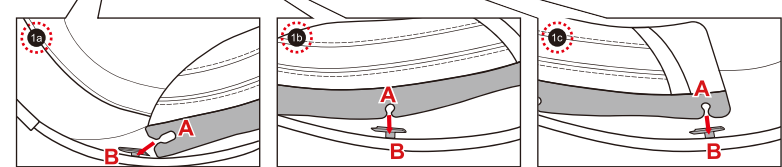
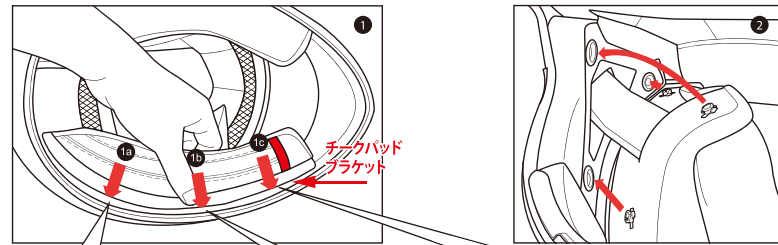
### チークパッドの取り外し

チークパッドはスナップボタンとプラスチック板で固定されています。  
1. チークパッド内側にある3つのスナップボタンをやさしく外して下さい。  
2. チークパッドを図②の方向に正しい方向に引き抜いて下さい。



### チークパッドの取り付け

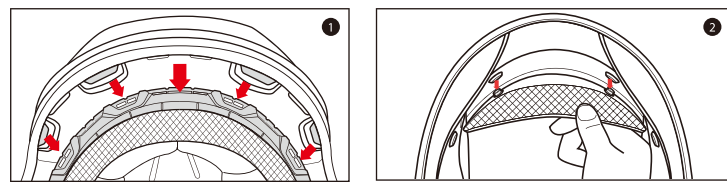
1. プラスチック板をシェルとEPS(衝撃吸収ライナー)の間に差し込みます。  
2. スナップボタンを取り付けます。



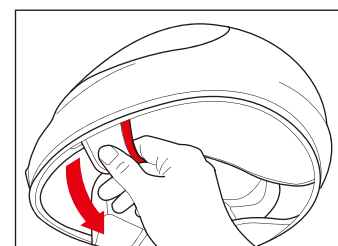
※チークパッド側の切欠き部分(A)をチークパッドブラケット(B)のボスに差し込んで下さい。

### インナーライナーの取り外し

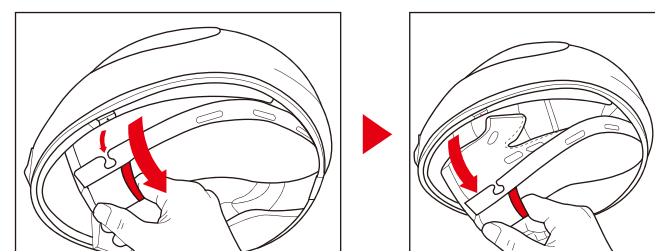
1. 前側の五カ所のツメを持ち上げながら一つずつ外していきま。  
2. 後方の二つのスナップボタンを外して下さい。



### エマージェンシーキットの使い方

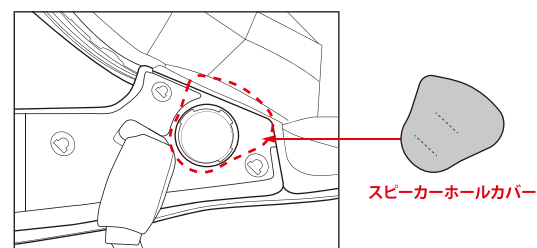
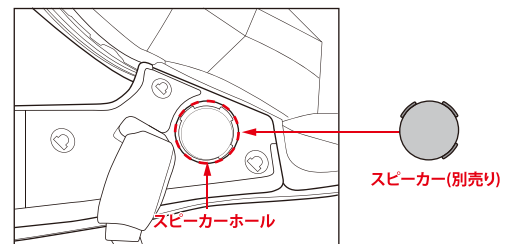


緊急時には、赤いラインがあるポケットに指を入れ、図のように引くとチークパッドを簡単に取り外すことができます。  
※ チークパッドを取り付けるボタンの根本部分が外れる可能性があります。  
▶ヘルメットにチンカーテンが取り付けられているときは、チンカーテンを取り外してからエマージェンシーキットを操作してください。  
▶ヘルメットからチークパッドを取り外す時は必ずヘルメットを押さえ、ライダーの頭部を動かさないようにして下さい。  
▶エマージェンシーキットは緊急時のみ使用して下さい。



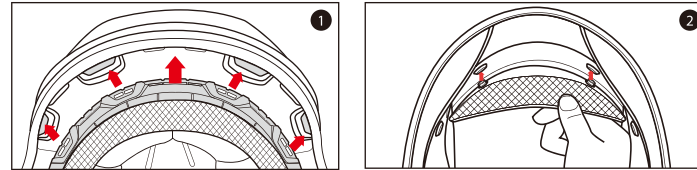
### イヤーパーズの取り外し

※用途やフィッティングに合わせて、スピーカーを取り付けたり、お好みでイヤーパーズを脱着することができます。



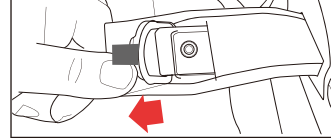
### インナーライナーの取り付け

1. インナーライナーの枠を五カ所のツメの下に差し込み取り付けます。  
2. 後方の二つのスナップボタンを取り付けます。



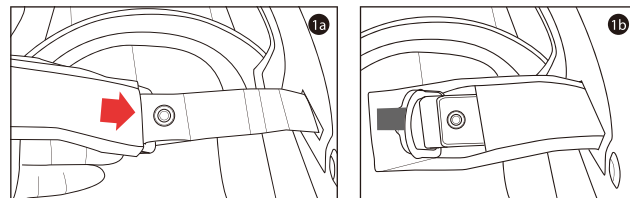
### チンストラップカバーの取り外し

1. あごひも付け根のベルクロを外してから、チンストラップカバーの端をつかんで引き抜きます。



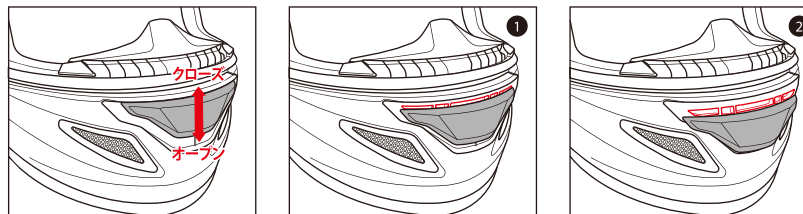
### チンストラップカバーの取り付け

1. チンストラップカバーをあごひもに通し、奥まで差し込んで内側のベルクロで固定します。



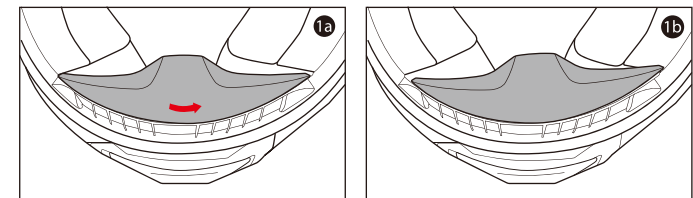
### ローアベントの操作方法

※ ローアベントの開き方は2段階あり、吸気量と排気量を調整できます。  
1. ローアベントを1段階では1回、2段階ではもう1回スライドさせます。  
2. 1段階目の位置で最小限の風量を確認し、2段階目で最大限の風量を確認することができます。



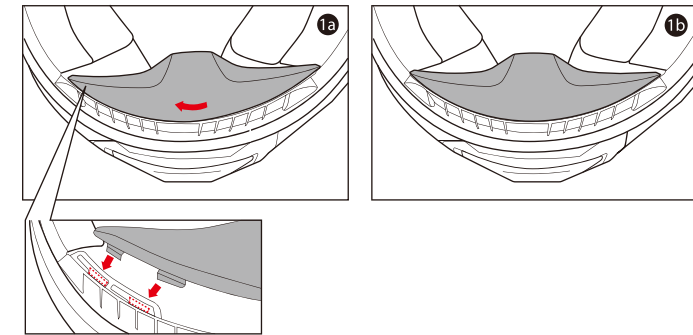
### プレスガードの取り外し

1. プレスガードの中央部分をつかみ、矢印の方向へ引き抜いてください。



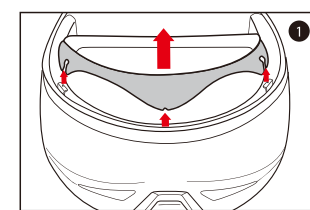
### プレスガードの取り付け

1. 図のように左右四カ所のツメをひっかけ、矢印の方向に押し込んでください。



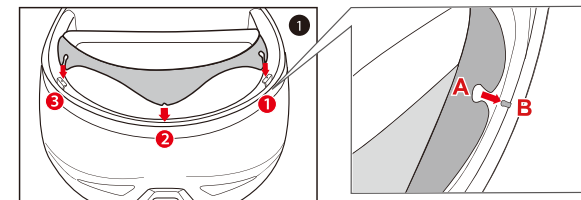
### チンカーテンの取り外し

1. チンカーテンを図①の方向に正しい方向に引き抜いて下さい。



### チンカーテン取り付け

1. チンカーテンの中央を②の位置に合わせ、矢印の方向へ差し込みます。



※ チンカーテンの切欠き部分(A)を左右のチークパッドブラケット(B)のボスに差し込んで下さい。